

北郷里文化遺産マップ配布事業

横山再生委員会

会長 佐分利一郎

4月以降、各家庭では政府や、長浜市の新型コロナウイルス感染症対策の要請に応じて不要不急の外出の自粛等にご協力いただいていたと思いますが、先般、国のインフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の措置対象区域から滋賀県が解除されました。

4月18日から臨時休館していましたがまちづくりセンターも5月16日から開館し、感染防止ガイドラインに基づきサークルなどの利用も可能となりました。

さて、昨年九月に発足した横山再生委員会は「長浜市地域づくり協議会提案事業」に応募し、長浜市の交付金事業として選定していただきました。

現在、まちづくりセンターには二十年ほど前に長浜市で作成された北郷里地区内の観光案内パンフレットがあり、横山古墳や、地区内の数ある歴史的文化遺産を目的に来られる人たちにお配りしています。しかし、デザインに年代を感じさせ、北郷里のよさを伝える内容に欠ける点も否めません。

そこで、横山再生委員会では二〇回以上の議論を重ねて、今年度以降の活動内容を協議し、本年度の大きな事業として長浜市の交付金を元に「文化遺産マップ配布事業」に取り組みもうと思っております。

作成に当たっては北郷里連合地域づくり協議会及び、各自自治会の協力を得ながら、広く住民各位のお声や、小学生及び中学生の次世代の協力のもとに進めていきたいと考えています。

また、専門家のご意見として、北郷里の歴史に造詣の深い元長浜市史編さん室室長の西川丈雄氏の助言をいただきながら進めていこうと考えています。

ところで、一般的に地域づくりは、地域住民が安心して、いきいきと暮らすために住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組みだと言われています。

今、地域の大きな課題は北郷里も含めて、少子高齢化や人口減少などがあげられますが、それ以外にも、人間関係の希薄化、地域や地域活動への無関心などもあります。

そして、その解決のためには、私たちが、自分たちが住む地域に関心

を持つことだと考えます。

この取り組みのよいところは、自分たちの住む地域を各世代それぞれの視点で見つめることができることです。

さて、その第一歩として、横山再生委員会では各自自治会の皆様から地域遺産の情報収集と、この事業にかかる編集に協力していただける方を必要としています。すでに各自自治会長様にはこの事業に協力していただいている方の推薦を依頼しています。

この文化遺産マップは地域の方々に配布し、また小中学校の地域学習や、連合地域づくり協議会が主催するウォーキングイベント、地域外から来訪される方々への観光案内に活用していきたいと考えています。

お知らせ

七月に予定していました本年度の青少年育成専門部会主催の「三世代交流自然体験事業（魚つかみ大会）」は長浜市の新型コロナウイルス感染防止のガイドラインに従い、中止とさせていただきます。

そして、何よりもこのマップ配布事業を通して皆様の力を結集し、故郷への愛着と誇りをもって次世代に引き継いでいける成果物にしていきたいと思っておりますので、どうか、その趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。



遠藤直経の墓（垣籠町）

飛沫感染対策アクリル（透明）

パーティーション

西上坂町にある株式会社開伸様より新型コロナウイルス対策用に開発された透明アクリルのパーティーションキットの寄贈を受けました。ありがとうございました。



第一回 わが町探訪

新型コロナウイルスの影響により、地協の各種行事の開催が見合わされている関係で、きら北郷里の紙面は各自治会の協力を得て特色あるわが町に焦点を当てて発行します。

城跡と古墳のまち堀部

堀部町自治会長 清水 利英

わが町には近江源氏佐々木一門の堀部氏が築いた堀部城、姉川合戦時の拠点の一つ岩田山砦など、多くの歴史遺産があります。中でも秀吉も城代を務めた横山城は横山壺番地と呼ばれ、市からの公園管理委託を受け、毎年秋に清掃活動を実施しています。

草刈り機を担いで三十分程のハイキング道には、古墳の墳丘を利用した郭や堅堀が残り、往時を偲ぶことができます。

南北に分かれる横山城主郭の北城は横山丘陵最高所であり、伊吹山、琵琶湖と竹生島が一望のもと、その素晴らしい眺

横山からの眺望



望を維持しているこの活動を、確実に次世代へ引き継いでいきたいと思っています。

町内の緑化運動の推進

千草中町 西尾 修

千草中町ではこの3月にドウダンツツジを100本、神社の境内に植えました。作業は宮世話さんと自治会の役員の共同で行ったものです。

市では緑化事業の一環として自治会に苗木を提供していますが、その事業に参画したものです。毎年とはいきませんが、過去には紫陽花を自治会館裏に植樹しました。そして毎年梅雨時にはきれいな花を咲かせています。除草や葉刈りなど手入れも大変ですが今後機会があれば町内の緑化を推進していこうと思っています。



ドウダンツツジ

スローガンは

「ONE TEAM」

春近町自治会長 矢野 久司

春近町は、町民一体となつて行事などに参加協力する風土があり、今年は自治会活動も町民の方々、役員一同「ONE TEAM(ワンチーム)」で楽しく実りある一年をスローガンとしておりますが、新型コロナウイルスの影響で、町民の方々と触れ合う機会が減っており、少し残念です。

そんな中、自治会役員一同で『今、町民の方々は何を望まれているのか、また今後、町民の方に喜んで戴けることは何か』を考え、微力ではありますが活動を進めております。

2月からではありませんが田園風景環境整備として、多くの方が散歩しておられる春近川沿いの清掃、主要な町道の草刈、マスクの配布、などを実施しております。

今後は、夏のイベントや防災

訓練など年間行事を計画しています。

今の情勢ではどうなるかわかりませんが、規模は別として、町民の方々に喜んで戴ける活動を今後も進めたいと考えています。



横山と伊吹と春近川

語らいの場のご紹介

東上坂町自治会長

長田 茂裕

当町では健康福祉関係のスタッフを中心に月に三回語らいの場「ひだまり」「カラオケの会」「いきいきサロン」を開催しています。内容は、リズム体操、ゲーム、紙芝居、本の読み聞かせやボランティアさんの催し物などが主な活動です。参加者は平均年齢80歳前後の方を中心として毎回10〜15名が集まって、日常の情報交換や健康アップ、娯楽の場として多くの方が楽しみにされています。